京都市地域リハビリテーション推進センターだより

リハエール YELL

8
2016
第4号

高次脳機能障害支援者のためのステップアップ研修　NEW！

支援者の方を対象に，入門講座から更に一歩踏み込んだ内容の研修として「支援者のためのステップアップ研修」を企画しました。モデルケースを通した講義の他に，実際にグループワークを行い，ケースの支援検討や支援者間の情報交換及び交流を行う3回シリーズの実践的な内容です。是非，ご参加ください！

日　　時：【１クール目】
平成28年7月22日（金）<終了しました>，8月26日（金），9月30日(金)
【2クール目】
平成29年1月13日（金），2月3日（金），3月10日（金）
時間は，いずれも午後1時30分～午後3時30分
内　　容：講義と支援者交流又はモデルケースの支援検討
※１クール目，２クール目は同様の内容です。（なるべく３回通してご参加ください。）
会　　場：京都市地域リハビリテーション推進センター１階　研修室
講　　師：京都市高次脳機能障害者支援センター　支援コーディネーター
受講対象者：高次脳機能障害のある方の支援に関わる関係機関の方で，当センター開催の「高次脳機能障害　入門講座」を受講済みの方又は，高次脳機能障害の基礎知識がある方（当研修では，入門講座のような基礎的な内容は含みません。）
定　　員：先着４０名
参 加 費：無料
申込方法：電話（０７５－８２３－１６５８）
申込締切：各開催日の２日前

高次脳機能障害　入門講座　10月3日(月)～申込み開始

高次脳機能障害の基礎中の基礎を学べるこの入門講座。昨年度から開講しておりますが「ダンゼンわかりやすい！」「１時間の講義なので，集中して聴ける」とクチコミで伝えられ，毎回大好評をいただいています。今年度も５月から月１回のペースで様々なテーマで開催しており，各回締切り前に定員に達してしまう人気のシリーズです。

今年度は従来からのテーマである「発症からのステップ～社会参加に向けて～」「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」「社会的行動障害について」に，新たに「失語症について」，「就労に向けて」の２テーマを追加し，５回シリーズへボリュームアップしています！！ なお，講師は当センターの支援コーディネーターや言語聴覚士がつとめます。

なお，前期日程は２回を残すところとなり，ほぼ定員に近い状況です。

「ちょっと聴いてみようかな」「勉強の秋だし，なにか始めたいな」等，関心をお持ちの方は，１１月１８日（金）から始まる後期講座にぜひお申込みください。内容は前期講座と同じですので，前期講座に全講座通して参加できなかった方にもチャンスです！

みなさん，とても真剣なまなざしです

京都市
CITY OF KYOTO

今回は，当センター1階にある相談課の相談判定担当の職員に突撃取材をしました！
何をしているところかな～？？

☆第4回☆　補装具ってなんですか？

地域リハビリテーション推進センターでは，福祉事務所等からの依頼に基づき，障害により補装具が必要になった方に対して

- どのような補装具がその方に適しているのかを判断する
- 補装具を装着する際の注意点等をお伝えする
- 不具合のある補装具に関する修理方法を説明する　等

補装具に関する様々な相談・判定業務を行っています。

地域ガエルの
おしごと拝見！

そもそも補装具ってなに？

補装具とは障害者総合支援法等に基づき支給されるもので，身体障害のある方の失われた機能を補完又は代替し，かつ，長期間にわたり継続して使用される用具とされています。
例えば，事故等により足を失った方への義足や病気等により自身で歩く機能を失った方への車椅子等のことです。

↑義足

電動車椅子
の一例→

補装具と治療用装具は違うの？

補装具と治療用装具は，同じ名称，型式のものもあることから同じものと考えられがちですが，本来の目的が異なります。治療用装具とは治療上必要なもので，疾病，障害等の回復改善を図る用具として支給されるものですので，補装具とは目的が異なります。

同じ短下肢装具でも，麻痺等の程度により種類が多数あるんですよ

全ての補装具が障害者総合支援法で支給されるの？

身体障害のある方でも，その障害の原因が労働災害等によるものであり，そのことにより補装具が必要となった場合は，障害者総合支援法ではなく，労働者災害補償保険法により給付を受けることになります。介護保険や船員保険等の保険制度でも支給されることがあり，その場合は保険制度から優先して支給されます。

補装具が欲しい時はどうすればいいの？

まずはかかりつけの医師に相談してください。
また，かかりつけ医がおられない方のために当センターでは補装具専門外来を設けています。
支給の申請等については，お住まいの福祉事務所，保健センターにご相談ください。

診療所
の様子

補装具について困った時はどうすればいいの？

まずはお住まいの福祉事務所や保健センターにご相談ください。福祉事務所等で解決できない場合は，当センターで実施している「からだの動きに障害のある方の相談」において，理学療法士，作業療法士，義肢装具士等の専門職員がご相談に応じます。

補装具を使うことで，できることが増えるね！

失語症のある方の相談支援事業

NEW！

ことばの障害でお困りの方の支援をします

☆失語症とは？？

脳血管疾患や交通事故等の脳外傷の後遺症で，言いたい言葉が浮かんでこない，耳は聞こえているのに言葉の意味が理解できないなどの症状があります。

☆こんなことでお困りの方

退院後，復職・就労したい，社会参加できる場所を探している，より良いコミュニケーションをとりたいなど，さまざまな不安をお持ちの方。

☆こんなことをします

言語聴覚士が，利用できるサービスやより良いコミュニケーション方法を一緒に考えます。場合により少人数でのグループワークを実施することもあります。それぞれの方の障害の程度や状況，目的に応じて，支援の方法や内容をきめ細やかにアレンジします。

☆対象

京都市におすまいの失語症のある方，そのご家族，支援者。

☆費用

無料

ことばの障害には失語症以外にもさまざまなものがあります。相談だけでもかまいません。まずはお電話でお問合せください。（電話０７５－８２３－１６６６）

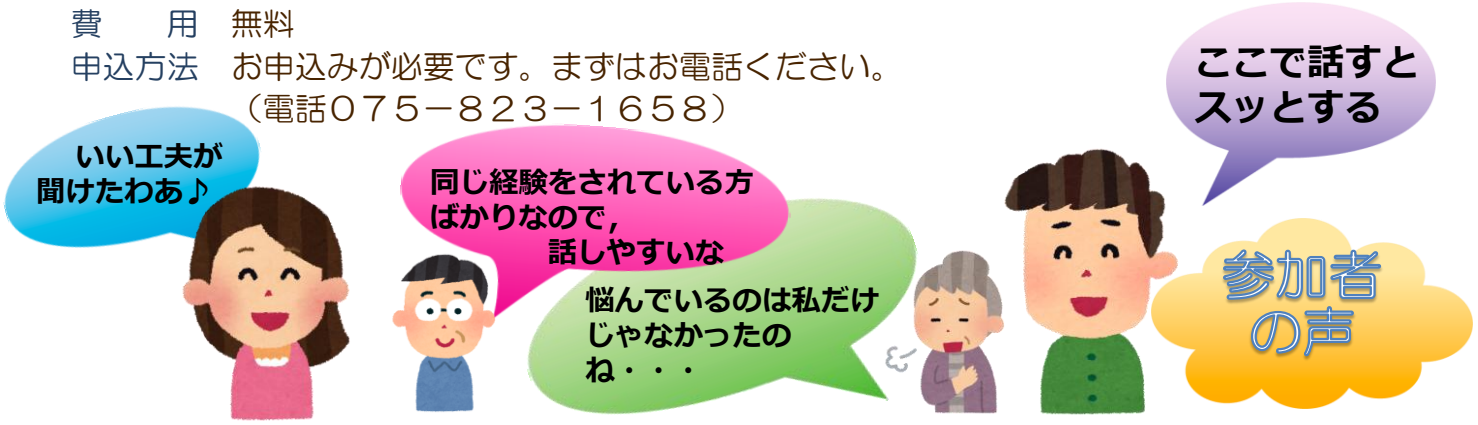
高次脳機能障害当事者・家族交流会

次回は９月９日（金）！

高次脳機能障害のある方からのご相談で「悩みを話せる場が欲しい・・・」，「他の家族はどのように対応しているのか知りたいなあ」といった声も多いことから，「当事者・家族交流会」を実施しています。この会では，同じような経験のあるご本人やご家族同士で日頃の思いを話したり，対処法を教え合うなど，情報交換や交流の場になっています。それぞれの体験談を聞く中で新しい発見があるかもしれません。

ご関心のある方は，まずはお電話ください。１回だけの参加，期間の途中からの参加もできます。

実施期間　平成２８年３月～平成２９年３月末まで
日　　時　第２金曜日　１０時～１１時３０分（変更となることもあります。）
場　　所　当センター１階研修室
対　　象　京都市におすまいの高次脳機能障害のある方やそのご家族
費　　用　無料
申込方法　お申込みが必要です。まずはお電話ください。
（電話０７５－８２３－１６５８）



「こんなときに役立つ支援のヒント ～障害福祉サービス利用者支援事例集～」

事例集をつくりました！

センターが力を入れている事業の一つである京都市障害福祉サービス事業所等訪問支援事業は，市内の生活介護事業所等にお伺いし，職員の皆さんに適切な介助や支援の方法等について助言させていただくものです。これまでの理学療法士，作業療法士の増員に加え，昨年度には言語聴覚士も新たに配置し，対象とする事業所も全事業所に拡大しました。

そこでこの度，**「この事業をもっとたくさんの人に知ってもらおう！」「ほかの事業所にも活用してほしい！」**とのあふれんばかりの**熱い思い**で事例集第１号を作成しました。

この冊子には，訪問の際に多く聞かれた質問を１２項目のＱ＆Ａとしてまとめたものと，さらに利用者のご理解を得て２０例の具体的な相談事例を掲載し，読んでいただくだけで，モヤモヤした悩みごとがスッキリ解消するような，現場での支援に大いに役立つ**ヒントが満載**！ そして，３７ページカラー刷りで見やすい！なのに，なんと無料！！そう，**タダです！！**好評につき，障害福祉サービス事業所を始めとした関係機関に**絶賛配布中！**

・・・じゃあ，コレさえ手に入れば，相談なんてしなくてもいいんじゃないの？

まあまあ，そう言わずにどんなことでもご相談ください。
みなさまからのご依頼をお待ちしています。

京都市障害福祉サービス事業所等訪問支援事業については，「リハ❀エール」創刊号（平成27年11月発行）に詳しく紹介しています。どうぞ併せてご覧ください。

催しのご報告　夏季レクスポ大会 IN 支援施設

６月２８日に開催した夏季レクスポ大会は，リオオリンピックに因んで，「ラグビー（キックボール）」「円盤投げ（フライングディスク）」「バレーボール（風船バレー）」の競技を３チームに分かれていざ勝負！ラグビーではゴールに向けて一斉にボールを蹴り，ゴールに入ると歓声が上がっていました。フライングディスクは丸い的に向かってディスクを投げるのですが，これがなかなか難しい！的（まと）に向かって投げているつもりでもディスクは右へ左へ…それだけに的に入ると「おお～」と感嘆の声が上がっていました。

そして，最後のハイライトは風船バレー！いすに座ったまま風船でパスをつなぐ中，みなさんテンションがどんどん高くなっていき，イスから落ちてしまわれないかスタッフは密かにヒヤヒヤ…。

まさかのフェイントあり，なんとブロックあり，うっかり見合いあり…，でも，チームワーク抜群でファインプレー続出の白熱した試合が展開されました。

★編集後記★今回は，知っているようで知らないことも多い，補装具について特集しました。利用するとＱＯＬがグッと上がります。ぜひご相談ください。

【リハ❀エール】第４号　２０１６年８月発行
発行　京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854　京都市中京区壬生仙念町３０番地
電話　　０７５（８２３）１６５０（代表）
ＦＡＸ　０７５（８４２）１５４５
Eメール　rehabili@city.kyoto.lg.jp
京都市地域リハ　検索　京都市印刷物 第284437号